



関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について

令和 6 年 1 1 月 2 1 日

広域医療局

1 経緯

- ・ 国土交通省大阪航空局による立入検査等により、関西広域連合管内のドクターヘリ運航委託先である学校法人ヒラタ学園において、不適切な整備等が行われていたことが確認され、5月28日に大阪航空局からヒラタ学園へ事業改善命令等が出された。
- ・ ヒラタ学園においては、事業改善命令等を踏まえ、6月27日に再発防止策を大阪航空局へ提出した。
- ・ 広域医療局においては、6月7日に構成府県のドクターヘリ担当課長から構成する「再発防止対策チーム」を立ち上げ、ヒラタ学園における再発防止策の実施等をフォローアップしている。

2 再発防止策のフォローアップ

(1) 「再発防止対策チーム」の活動状況

第6回会議（11月5日）

- ・ ヒラタ学園から再発防止策の実施状況を聴取した（別紙）。

(2) 再発防止策の実施状況（前回報告からの主な進捗）

ヒラタ学園において、大阪航空局の指導のもと、

① 安全管理体制の再構築

- ・ 新たな整備管理システムを開発、1月より順次、運用開始

② 安全意識の徹底及びコンプライアンス教育の実施

- ・ コンプライアンス研修を実施済（計6回）、11月22日に7回目を実施予定

③ 必要な予備品の配備などの整備体制の確保

- ・ 予備部品等・発注済（1億円分）、更に追加発注予定
- ・ 豊岡基地の整備基地化に要する工具を購入、配備予備品・内容協議中
- ・ 大手航空会社の品質管理業務経験者を11月に品質管理課長に任命
- ・ 8月以降、整備士4名を新規採用、更に来年4月までの2名採用を決定
- ・ 今後の安定した予備機の確保計画 など

再発防止策が進められていることを確認した。

3 今後のスケジュール

引き続き、「再発防止対策チーム」において、ヒラタ学園における再発防止策の実施状況を確認する。

大阪航空局 事業改善命令（講ずるべき措置）	ヒラタ学園 再発防止策	実施状況（2024年11月5日時点）
安全管理体制の再構築	オペレーション室の創設	オペレーションチームを設置し、暫定運用中（6月～） →令和6年度中にオペレーション室を設置し、運用開始予定
	学園内の体制再構築	関係職員への処分（交代・降格など）を実施済（6月）
	経営者の権限の移譲	航空事業本部長へ権限付与済（6月）
	内部監査の強化	内部監査要員へ規程関係の教育実施済（6月）
	整備管理業務の外部支援	整備管理システム会社から外部支援を受け、 整備管理職員の業務負担を軽減（7月～） 新たな整備管理システムを開発中（6月～） →令和7年1月より順次運用を開始し、同年3月に完成予定
安全意識の徹底 及びコンプライアンス教育の実施	職員向け教育の実施	社内講師によるコンプライアンス教育を職員へ実施済（6月） 外部講師によるコンプライアンス教育を経営者・職員へ実施済（6～7月） →更に社外講師によるコンプライアンス教育を経営者・職員へ 実施予定（11月・2～3月）
	経営層向け教育の実施	
必要な予備品の配備などの 整備体制の確保	必要な装備品の確保	通年運航に必要、又は過去の不具合事例等から必要と考えられる 予備品（1億円分）を発注済 →更に追加で予備品（1億円分）を発注予定
	ドクターヘリ駐機場所の 整備基地化等	まずは豊岡ドクターヘリ基地について、配備する工具を購入済、予備品を検討中
	品質管理課の設置	専属の担当者を配置済（6月） 大手航空会社の品質管理業務経験者を出向で受入れ、 品質管理課長として業務開始（11月～）
	整備士のリソースの確保	一部の整備業務をメーカーへ外注（6月～） 整備士の採用を計画的に実施中（4名を採用済）
	MELMANUAL（運用許容基準）の 適切な運用	基準の新規設定及び改訂を進め、大阪航空局へ提出済（8月）
	整備規程の改訂	不具合発生時の処置がスムーズかつ確実にいえるよう変更検討中